

日常的に「ダンスを観に行く」という文化を育てる

Works-M

活動の目的

県内外における人と場所、そこにある文化的価値に着目し、それらの交流を促進する。コンテンポラリーダンス作品の上演とワークショップを通して、岡山でのダンスや身体表現に対して新たな価値観と多様性を生み出し、岡山独自の舞台芸術による文化創造を目的とする。

活動の内容及び経過

Works-M Dance Workshop and Performance では Works-M experiment space (実験空間) として県内外のアーティストによる作品の上演 (全3公演・5作品) 及び、招聘アーティストによるワークショップを実施。来場者数は延べ205人。

【公演上演歴】

2017年

7月1日19時 / 2日15時

「おまえとおれ (風早孝将 + 三浦宏之) / Henry・C・Muller」

(会場：上之町會館ホール 入場者数延べ73名)

8月11日19時 小暮香帆 三浦宏之「ふたりしずか」

(会場：岡山禁酒会館ホール 入場者数22名)

2018年

1月27日19時 / 28日15時

「上村なおかダブルビル Life / アラシノヨルニ」

(会場：岡山禁酒会館ホール 入場者数延べ50名)

【ワークショップ実施歴】

2017年

8月12・13日 小暮香帆 (振付家 / ダンサー・東京)

(M・L・I・M-Lab Institute 夏合宿 (真庭市) 特別招聘ワークショップ講師として 受講者数延べ10名)

12月12・13日 岩淵貞太 (身体地図主宰 / 振付家 / ダンサー・東京)

(会場：上之町會館ホール 受講者数延べ18名)

2018年

1月25日 尾形直子 (ダンサー / 整体師 / インストラクター・東京)

(会場：天神山文化プラザ第1練習室 受講者数8名)

1月26日 楠美奈生 (ダンサー / ロルファー・東京)

(会場：天神山文化プラザ第4練習室 受講者数8名)

1月25・26日 上村なおか (振付家 / ダンサー・東京)

(会場：天神山文化プラザ第1・4練習室 受講者数延べ16名)

活動の成果・効果

公演には岡山県内だけではなく、広島・兵庫・香川・富山・京都からも来場者がおり、岡山での活動を県外へ発信することに繋がった。公演の延べ来場者数は145名、また、招聘ア



ィストによるワークショップについても県内外より延べ60名が参加。アーティストと市民による交流を一層深めることができた。

今回の活動では、①国内外で活動するアーティストによる作品の上演、②フィールドの異なる (演劇とダンス) アーティスト同士のクリエイション、③劇場以外の場所での公演実施、④身体によるアーティストと市民との対話、に重点を置き、舞台芸術活動による、人・場所・文化の交流を目指した。②・③は特にアーティストのクリエイティビティに影響を与え、実験的・多角的な作品の上演へと繋がっていった。①・④においては市民に対して、継続的にコンテンポラリーダンスの公演・ワークショップを行うことにより、ダンスを身近に体感できる機会を増やすことが可能となった。また、作り手と観客、人と場所 (都市) それぞれの間に新たな繋がりが生まれ、岡山における文化的価値に新たな側面を生み出す可能性が見られた。

今後の課題と問題点

県内外からの experiment space への延べ来場者数205名のうち、出演者・関係者手売り以外のチケット販売数は13と全体の1割に満たない状況にある。この数字は未だ広く市民にコンテンポラリーダンスが浸透していないことを表している。コンテンポラリーダンスが東京や横浜、京都など、いわゆる大都市だけで行われる「遠くのもの」という認識を改め、表現する側、観る側の身体から生まれる新たな対話とクリエイティブな日常をより「身近なもの」としていくことが課題として挙げられる。そのために今後も人と人、都市と都市の文化交流のパイプ的役割を担い、より一層拡充してゆくことが必要であると考えている。

- 代表者：三浦宏之 ●所在地：岡山市北区天神町
- TEL：086-238-4867 ●E-MAIL：worksmlabo@gmail.com
- URL：http://worksmlabo.wixsite.com/works-m
- 設立年：2010年 ●メンバー数：2名